



広報紙

# ルック

第17号



- 年頭のご挨拶
- 心疾患のサインに注意
- 転倒に気をつけて
- 地域医療連携室



新しい時代へ、共に育み、  
チームワークで取り組む、信頼の地域医療

## 年頭のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には日頃から大阪医科薬科大学三島南病院へのご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2021年は新型コロナウイルス感染に終始した一年でした。改めて我々が行なっている医療が全ての人々にとってエッセンシャルワークであり、医療がライフ（生命、人生、生活）を支えていることを実感する年であったと思います。正に『NO medicine, NO life』でありました。

特定機能病院を持つ学校法人が運営する施設の役割として、当院では急性期、回復期から在宅までの医療を提供する体制を構築しています。2021年4月より学校法人の名称が「大阪医科薬科大学 Osaka Medical and Pharmaceutical University (OMPU)」に変更となり、より大きな経営母体として新たなスタートを切りました。医看業の連携を一層強化し、互いに切磋琢磨することで共に成長しながら、より効果的なチーム医療を提供する所存です。

地域の他の医療機関と一層、密に連携することで地域医療の充実に繋がるものと確信しております。これからも引き続き当院へのご支援とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

病院長 木村文治



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年も新型コロナウイルス感染症の勢いが留まることなく年始を迎え、第6波が到来しました。

当院をご利用される皆さまには病院開門時間の短縮、面会制限などご不便とご迷惑をお掛けしており、ご理解とご協力に感謝申し上げます。

近年、日本では「人生100年時代」と言われるようになり、高齢者から若者まで全ての人に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる持続可能な社会をつくることが重要な課題となっています。特に長引くコロナ禍においては、コロナと共存し、平均寿命ではなく健康寿命の延伸が重要になっています。

当院は、地域に根ざした病院として多職種が連携し医療チーム一丸となって、地域の健康寿命延伸に取り組み、皆さまが安心して暮らすことができるように尽力させていただく所存です。

今年の干支である壬寅は、「新しく立ち上がる」「生まれたものが成長する」といった縁起の良い意味があるようです。今年こそは新型コロナウイルス感染症が収束し、健康で安心して暮らすことのできる新たな社会が訪れることを切に願っております。

本年が皆さまにとって、幸多き一年となりますよう心から祈念いたします。本年もよろしくお願い申し上げます。

看護部長 松本加奈



# 心疾患のサインに注意

心不全と言われると“心臓が悪いんだ”と多くの方が思われるでしょうが、いま世界中で心不全患者数が増加していることをご存知でしょうか。日本人の死因の第1位はがん、第2位は心臓病であり多くの方が心疾患により命を落としています。

心不全は、虚血性心疾患や心臓弁膜症、不整脈、心筋症といった様々な心疾患を原因として行き着く病気であり、日本においても超高齢化社会の到来とともに患者数、死亡者数ともに増加の一途をたどっており、心不全パンデミック（心不全患者の爆

発的増加とそれに伴う医療費の逼迫）が生じつつあります。2019年には「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」（循環器病対策基本法）が施行され、国をあげての取り組みが行われています。

心不全はひとたび発症すると完治することなく、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら進行していき、難治性心不全となり死に至ります。このため、心不全の予防と早期発見、治療介入が重要となってきます。虚血性心疾患の原因となる生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症）の予防、健診を受けることにより心臓弁膜症や不整脈の早期発見を行う、とい

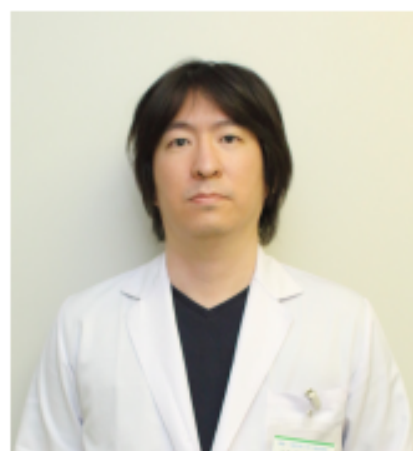


エルゴメーター（運動負荷心電図検査）

ったことが重要となります。心疾患を発症しても適切な管理を行うことにより心不全の発症を防ぐこと、心不全を発症してしまっても早期に治療を行うことで進行を遅らせることができます。心不全の診断には症状や身体所見のほか、胸部レントゲンや心電図を行います。心電図から心不全が疑われる場合に心エコー検査を行います。また、血液検査で測定される心臓から分泌されるホルモン値も参考となります。

日本人における心不全の原因として最多なのは虚血性心疾患です。虚血性心疾患の診断には、症状や心電図から判断します。虚血性心疾患が疑われる場合に運動負荷心電図や冠動脈造影CT検査、必要に応じて心臓カテーテル検査を行います。

歩行時の胸痛や息切れ、動悸、むくみといった症状は心疾患の重要なサインです。このような症状が現れた際には**担当医**までお気軽にご相談ください。



# 転倒に気をつけて！

冬になり寒くなることで転倒による骨折が増えてきます。寒さにより身体が動かしにくくなることや、雪が降り路面が凍結することで滑ってしまい転倒しやすくなります。今回は転倒することで多くみられる骨折で手首の骨折についてご紹介いたします。



## 橈骨遠位端骨折（とうこつえんいたんこっせつ）



転倒して手をついたときなどに、前腕を構成する骨のひとつである橈骨が手首の近くで折れる骨折のことです。

骨粗鬆症を患う高齢女性に生じやすい骨折であり、骨折のなかでも頻度が高いもののひとつです。

治療としては麻酔をして医師の手で体表から転位した骨を元の位置に戻す徒手的整復を行い数週間ギプスなどで固定する**保存療法**と、**手術**をして主にプレートで転位を修正・固定する方法があります。

### <保存療法>

ギプス固定翌日から固定関節を除く関節を動かす訓練を行います。指は自分で動かせる範囲で動かしてもらいます。約3週間から4週間で固定が外れ、手首と腕の運動を行います。

### <手術>

手術翌日から固定していない関節を自分で動かす練習を行い、手の位置の指導も行います。その後徐々に手首・腕の運動を行っていきます。手術28日目からは筋力をつける運動を行います。

当院では入院時だけではなく、**外来で継続的にリハビリテーションが行えるところが特色**です。以前の状態に近づくよう、生活できる手になるように日々患者さんと二人三脚でリハビリテーションを行っています。

リハビリテーション科

## 地域医療連携室は患者さんやご家族、地域の相談窓口です

私たちはこんな相談に応じています。

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 医療費や生活費などの経済的な問題   | 2. 療養に伴って生じる社会的、心理的な問題 |
| 3. 入院・転院・福祉施設入所の相談・調整 | 4. 在宅医療・介護・復職・復学などの問題  |
| 5. かかりつけ医についての相談      | 6. 病院に対する要望や苦情 など      |

月曜日～金曜日 9:00～16:50

土曜日 9:00～12:00